

## 2.7 大阪府教員研修会 即興型英語ディベート研修

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

中川智皓

開催日時：2016年10月7日(金) 14:30-17:00

会場：大阪府教育センター 参加者：教員 42名 助成：日本財団

参加校：28校 (東淀川高校、池田高校、春日丘高校、吹田東高校、北千里高校、阿武野高校、摂津高校、旭高校、寝屋川高校、牧方高校、牧野高校、夕陽丘高校、花園高校、八尾翠翔高校、富田林高校、長野北高校、泉陽高校、岸和田高校、福井高校、成城高校、槻の木高校、鳳高校、布施高校(定時制)、大阪学院大学高校、大阪聖母女学院、羽衣学園、プール学院中学校・高校、明星高校)

協力：文部科学省「平成28年度総合的な教師向上のための調査研究事業」

平成28年10月7日金曜日、大阪府教育センターにおいて、「授業でできる！即興型英語ディベート」を主題とした研修が行われました。研修の初めに、PDA代表理事 中川より、挨拶とディベートの概要、ルールについての講義が行われました。現場における授業で導入できるよう、即興型英語ディベートは50分で行われます。中教審が高校の英語で「論理・表現」を新設するなど科目を再編する方針をまとめたとおり、それに伴う学校教育に於けるディベートの有用性を確認しました。

次に、教員の皆さんにも生徒の気持ちになって、実際にディベートを体験していただきました。ディベートでは、1つのお題が与えられ、それに対して肯定チームと否定チーム、ジャッジのグループに分かれます。どのグループになるかはランダムで決められ、さらに論題が発表されてからディベート実践が始まるまでの準備時間は15分です。

準備時間後、早速第一ラウンドが開始されました。要領を掴むのに戸惑っている様子でしたが、その中でもPOIを積極的に出すテーブルもあり、大阪の力強い商人魂を感じることができました。続く第二ラウンドでは、先ほどに比べ意見も活発に交換され、POIもさらに増えたという印象でした。二回という少ない実践ではありましたが、多くの方が伸びを感じられたようです。また、各自の教室でいかにディベートを授業に、そして生徒に取り入れられるかを質問する方が多くいらっしゃいました。スタッフジャッジによる個々人のフィードバックでは、ディベートの内容に加え、スピーチの仕方や生徒への指導の際の配慮などのコメントも伝えられました。この研修会を通じて、多くの先生方に実際に授業に取り入れてみたいと感じていただけたようです。最後の感想では、教員人生の中で一番の研修であったとのコメントも寄せられました。



## 参加者の声（アンケートよりそのまま抜粋）

- 2回体験できることが good でした！1回だけなら難しさを思い知って帰るだけでした…
- 特に英語力、プレゼン力、知識を得るためのリサーチ力が総合的につくと思います。
- 生徒は自ら話したいと強く実は思っているので、よい学びの機会になると考えられます。
- 実践型で、生徒の気持ち（楽しさ、戸惑い）を体感できた。
- またこのような教員同士で学びあえる機会があれば参加したいです。
- 生徒に英語を話すよう指導する側の私たちも、このようなトレーニング機会を持ち経験をつむことは貴重な体験でした。
- 4技能をうまく統合できている。なおかつゲーム感覚があってポジティブに取り組むことができた。
- コミュニケーション能力の育成のためにはコミュニケーションをとらざるを得ない状況を選択する必要があるのよいと思いました。
- 様々なテーマについてもっと英語で意見を言えるようになりたいと、生徒たちも思うはずだと思うので、生徒のモチベーションUPにつながると確信した。

---

## 本研修会にて選ばれたベストディベーター

### 〈第1ラウンド〉

花園高等学校	先生	岸和田高等学校	先生
阿武野高等学校	先生	泉陽高等学校	先生
牧野高等学校	先生	北千里高等学校	先生
春日丘高等学校	先生	春日丘高等学校	先生
プール学院中学校・高等学校	先生	夕陽丘高等学校	先生
北千里高等学校	先生		
泉陽高等学校	先生		

### 〈第2ラウンド〉

阿武野高等学校	先生
牧野高等学校	先生